

平成 30 年 6 月 2 5 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では間伐事業が順調な中、地域によっては虫害材の影響もあり、原木生産は減少し、入荷量は少なくなっている。原木価格は品薄から値上げに転じていたが、連休明け以降、例年通り出材が減少し、材が傷むようになってくると、弱保合で推移。スギは柱材と中目材は保合いだが、ヒノキは値を下げてきている。先行き梅雨期を迎え、出材が減り、製材工場では原木の仕入に苦戦することが予想される。

群馬県でも原木の出材は順調で集荷は容易。原木価格も下落傾向にある。原木在庫は十分。操業は順調で公共工事と一般物件が重なり、6 月末までの仕事は確保している。プレカット工場からの問い合わせは減少。スギの 4m90 角、ヒノキの 4m90 角、4m105 角は相変わらずの品薄である。貫板、ラス下等は需要に一服感がある。スギ 4m の 90 角、105 角は m^3 当たり 3,000 円程度の上昇、ヒノキ製品価格は 3、4m とも上昇している。

2. 米材

米加北西部の伐採は平年通り。米国では順調に在庫が積み上がっているが、カナダでは旺盛な国内需要のため依然在庫の積み上がりは見られず、米加間での温度差が続いている。ウェアハウザー社の 6 月積み対日価格(推定)は\$20 ダウンの\$1,010 と 2 カ月連続の値下げ。米国製材品価格は史上最高値を更新中であり、産地事情から下落の理由は見あたらない。DF 平角の競合品である RW 集成平角の価格上昇が見込めない中で昨今の円安を受け、日本の国内事情を配慮しての 2 カ月連続の値下げ決着となった。ランダムレング紙 15 種平均価格(6/1 現在)は\$582/M で 5 月頭に比べ 9.8%up。

4 月の原木入荷量は 202 千 m^3 、1~4 月累計で 903 千 m^3 (前年同期比 0.7%増)、出荷量は 196 千 m^3 、1~4 月累計で 860 千 m^3 (同 7.2%減)、在庫は前月より 6 千 m^3 増の 242 千 m^3 となり、在庫率は 1.15 ヶ月に上昇。国内の米材製材工場は昨年末に欠品を起こした製品の在庫積み増しのため、フル操業。入荷の少ない DF 小角の出荷が好調。5 月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は在来船の遅れで 5 月に集中し、38 千 m^3 (前月比 42.2%増)、出荷量は 27 千 m^3 (同 19.7%増)、在庫量は 51 千 m^3 (同 22.0%増)。国内大手製材工場では 6 月より一部正

角の値上げアナウンスが有り。米マツの価格上昇率は落ち着いてきたものの、引き続きオファー数量は少ない状況。

3. 南洋材

サバでは州政府が5/23に原木輸出の一時的禁止を決定したが、伐採業者が伐採を減らす可能性も高い。サバ州禁輸を受け、伐採規制の厳しいサラワク州に殺到し、価格が上昇する可能性が強い。ソロモンは中国が独占し、日本、インド、ベトナムはPNGにシフト中である。サバ州禁輸の影響もあって価格は更に上昇が予想される。6月予想の原木入荷量は約18千 m^3 、出荷も18千 m^3 で横ばい、在庫は入荷低水準のため減少。4月の製材品販売は好調であったが、5月は調整局面となった。フリー板は国内在庫が多く、若干調整中である。

4. 北洋材

これから夏山に入ることでアカマツ良材原木の不足が予想される。原木産地価格はアカマツ\$190前後で高値貼り付き、カラマツも\$180前後で更に強含み。現地挽き完成品は\$520超えもあり、高値警戒感が出ている。原板も高値警戒感が強いが、日本の各工場は契約残が十分あり様子見。日本からのアカマツ野縁製品の引合いは未だ強いが、急ピッチで上昇する現地価格に警戒感が出てきた。6月予想の原木入荷は5千 m^3 、出荷4千 m^3 、在庫17千 m^3 、製品入荷(東京+川崎)は20千 m^3 、出荷18千 m^3 、在庫40千 m^3 。入超により在庫は増加。

5. 合板

原木について、スギの需給バランスは取れているが、カラマツは引き合いが強く価格は上昇。ロシアカラマツも米材や国産カラマツ不足のため価格も強い。米材原木は調整程度の値下がりとなった。4月の国内合板生産量27万 m^3 のうち針葉樹合板は26万 m^3 、出荷量は25.1万 m^3 となり、前月と同水準。在庫量は12.8万 m^3 、うち構造用合板は10.7万 m^3 となり、前月に比べ5千 m^3 の増加となった。国内針葉樹合板は3月の値上げ以降、停滞感が続いており、5月も低調に推移し、6月販売価格は横ばいとなった。安値も散見されるが、メーカーの在庫に過剰感はなく、一部アイテムでは未だ不足感が続いている。メーカーの強気姿勢には変化ない。針葉樹合板9mmは少量だが出てきて、不足感は殆ど無くなったが、ラワン構造用9mmは依然不足感が強い。4月合板輸入量は前月より6.4万 m^3 増の26.7万 m^3 となった。各商社の決算対策もあり、4月に入港を遅らせた影響と見られる。現状の関東マーケットでは過剰感が出ている。産地インドネシアでは天候が回復せず、各工場とも原木不足が続いている。6月はラマダン(断食月)のため生産量の回復も期待できない。マレーシアでも原木不足が続いている。サバ州が一時的に原木輸出を禁止したこ

とで国内工場への供給が確保される見方もあるが、不透明である。国内合板、輸入合板ともに荷動きが悪いため、先行き停滞感を帯びたまま進んでいくものと見られる。輸入合板はサバ州の原木輸出禁止が与える影響を注視していく必要がある。

6. 構造用集成材

ラミナ入荷は順調で、各社とも在庫量が多い。6月には第3・四半期ラミナ交渉が開始されるが、RWが数ユーロの上げ、WWはスライド、オファー量は例年通りのダウンになる模様。国内集成材メーカーは年明けからの需要低迷により値上げできず、63,000円～65,000円で止まっている。国内集成材メーカーの受注は落ち着いており、RW梁桁の販売、荷動きは鈍く、在庫過多となっている。6月に入り、プレカット工場の稼働率は上がっているが、荷動き好転までは至っていない。輸入集成材は6～8月積みで値上げを提示していたものの成約は進んでいない。7～9月積みは値下がり敬遠してオファーも少な目となっている。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は順調で概ね例年並み。解体材の入荷も例年並みだが、製紙・バイオマス発電共に大型定期修理があり、余剰感が継続している。製紙用国内針葉樹チップの配合率が増加し、増集荷を継続中だが、定期修理があり、一時的に在庫を削減中。針葉樹原木・チップ共に冬場の値上げの揺り戻しがあり、一部で値下げの動きがある。チップ工場は各社製品置場を確保して操業率を落とさないように苦労している。

8. 市売問屋

国産材の入荷は少ないが、荷動きが悪いため不足感はない。外材は米マツ、アカマツの値上がりに対しても反応が悪い。マンション、公共建物に積層材が多くなっている。6月に入っても材木店の仕事が増える様子が見られず、多品目の少量注文となっている。市場では記念市の集客に力を入れている。

9. 小売

連休明け後、木材は期待通りとはいかないまでもそれなりの注文があったが、建材・合板は期待外れの面があった。構造材はスギ、ヒノキとも価格はほぼ横ばい。米加材は価格上昇のピッチが速く、問屋からも値上げ要請があり、転嫁せざるを得ない状況。針葉樹合板の品薄感はほぼ解消、輸入合板は毎月値上げのアナウンスがあったが、5月に一段落した模様。パーティクルボードの品薄感は依然ぬぐえず、先行き懸念される。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	↘	↗
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	→
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↗
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	→
		アカマツ(KD)16×40上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウッド' ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→